TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

信仰から繁栄へ　コロサイ人への基本事項

気にしないクリスチャン コロサイの信徒への手紙 2 章 11－28 節

2024 年 8 月 31 日 & 9 月1日
ジェシー・セザリオ　牧師

ご挨拶
礼拝に参加されている皆さん、こんにちは。TBC ウエストトウキョウ、TBC 三郷、福岡インターナショナルチャーチ、スバとトンガのバプテスト教会の皆様にもご挨拶します。今日、恵みがありますように。

祈りましょう

はじめに
最初に、コロサイの教会が置かれている状況を確認しましょう。使徒、教師や教会の立ち上げを手伝ってくれる人達から遠く離れた場所にある新しい教会です。
パウロが書いた手紙から、イエス・キリストがどのようなお方であるかを彼らが正しく受け止めていけるか、パウロが心配していると読み取れます。彼らと同じように、私たちの信仰においても、イエス・キリストがどのようなお方であるかは、しっかりと把握しなければならない根本的な真実です。

以前のメッセージを覚えていない方や、その時におられなかった方のために、もう一度お伝えさせてください。
イエスとは誰でしょうか？

イエスは神の子であり、すべてのものの上におられる方です。すべてのものは、イエスによってイエスのために創造されました。そして、肉体をもってこの世に来られ、私たちの間に住まい、十字架で死に、死者の中からよみがえる事によって一―この世界の救済が始まって、今なお私たちの中に生き続けておられます。

イエスは主です。

どういう意味か気になっているかもしれません。特に、見えないでしょうが大文字の『LORD』であることが。ご存じのように、大文字の『LORD』は『ヤハウェ』を意味していて、どちらも同じ意味です。私が言っていることはこれであり、イエスも同じことを言っていたのです。イエスがヤハウェであり、主であるのです。

旧約聖書では、このように書かれています。
ヤハウェは「私はいる、という者である。」と言われました。イエスも「『私はある。』」と言われました（出エジプト 3:14-15、ヨハネ 8:58）
ヤハウェは羊飼いです。イエスもご自身を羊飼いと言われました。
（詩編 23:1、ヨハネ 10:11）
ヤハウェは光です。イエスもご自身を光と言われました
（詩編 27:1、ヨハネ 8:12）
ヤハウェは岩です。イエスもご自身を岩と言われました。
（詩編 18:2、マタイ 7:24）
ヤハウェは裁きです。イエスもご自身を裁きと言われました。
（イザヤ 1:26、ヨハネ 5:22）
ヤハウェは神の言葉はとこしえに立つと言われました。イエスもご自身の言葉は決して滅びないと言われました（イザヤ 40:8、マルコ 13:31）
ヤハウェは初めでありまた終わりです。イエスもご自身を最初であり最後であると言われました。（イザヤ 48:8、黙示録 1:17）

では、いつものように質問です。あなたはイエスがヤハウェであり、主であると信じていますか？　あなただけの主ではなく、全てが大文字の主（LORD）、つまり世界の救い主であると信じていますか？

でも、コロサイの人々は混乱しているようです。本物のキリストに従う者として、完全になるためには、もっと自分たちの手で何かを行わなければいけないと考えているようです。彼らの考えは、信仰に反対する人々のグループからもたらされたものです。

重要なポイントです。クリスチャンとして歩む中で、反対に直面することがあるでしょう。他の信仰や哲学について耳にして、またそれらに霊的な感銘を受けたと聞くこともあるでしょう。しかし、それらがどれほど素晴らしく見えたり、霊的に聞こえたり、論理的で哲学的であったとしても、聖書はそれらが空虚で欺瞞に満ちていると言っています。それらに霊的なものは何もなく、人々の伝統やこの世の基本原則に従うだけで、キリストに従うわけではありません。反対する人達は、イエス、すなわち主への信仰だけでは十分ではないと言うでしょう。

では、次のような質問がどうでしょう。完全とは何か、または何をもって本物のクリスチャンと言えるのか？あなたならどう答えますか？　そして、反対されたとき、どのように対応すればよいのでしょうか？

これが、今日のメッセージで答えるべき質問です。
●本物のクリスチャンとはどのような人か？
●反対にはどう対応するか？

パウロが教えてくれます。

明らかにされたこと
11:あなたがたはキリストにあって、手によらない割礼を受けました。それは肉の体を脱ぎ捨てること、すなわち、キリストの割礼です。12:あなたがたは、洗礼（バプテスマ）によってキリストと共に葬られ、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。13:あなたがたは過ちによって、また肉に割礼を受けずに死んでいた者でした。神は、そのようなあなたがたをキリストと共に生かし、私たちのすべての過ちを赦してくださいました。14:数々の規則によって私たちを訴えて不利に陥れていた借用書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださったのです。

割礼は、神と神の民との間の契約を示すユダヤ人の習慣でした。事実、この契約はアブラハムから始まり、すべての地上の人々からユダヤ人を分かち続けるものとなりました。これは、この世がノアの契約を守れなかった後に結ばれたものです。

割礼は、アブラハムの子孫を通じて印として区別し、神の民を特別な存在とする節目でした。新しく髪の家族となる方法でした。肉体的印だけではなく、ヤハウェを父なる神として仰ぐものです。

神の家族の一員であるとは、なんと素晴らしい特権だったことでしょう。

しかし、またしてもイスラエルの中で憎しみといじめが起こり、物事は崩壊しました。ヨセフは兄たちに憎まれ、井戸に投げ込まれます。ご存じのとおり、ヨセフは捕らえられエジプトに送られます。神は 7 年間の飢きんで状況を改善しようとしますが、ある程度うまくいくものの、またしても神の民はエジプトで奴隷となってしまいます。

次に登場するのがモーセです。神はモーセを用いてユダヤ人をエジプトの奴隷状態から解放します。神はモーセと別な契約を結び、沢山の人生の律法によって、彼らが良い子どもとなり、互いにいじめ合わないように示します。この律法はどのようにお互いに愛し合うかを示していました。

人々はもちろん！と言いました。「主が言われたことはすべて行い、従います」子どもたち、よくやりました！

しかし、また人々は契約を守ることができず失敗します。神が命じたようにお互いを愛することができませんでした。

ここから、たとえ不従順により破滅がもたらされることを分かっていたとしても、人々は約束を守ることができないことが分かります。

しかし、律法を守ることは彼らのためだけではありませんでした。神は、互いに愛し合う中で人が知恵を用い、愛するために賢くなり、どう振る舞うべきかを示して、神の民が神と共にいることを世に示すつもりでした。

申命記 4: 6-7
6: あなたがたはそれを守り行わなければならない。それは、もろもろの民が目にするあなたがたの知恵と分別であり、彼らはこれらすべての掟を聞き、「この大いなる国民は、知恵と分別の民にほかならない」と言うであろう。7:私たちの神、主は、私たちがいつ呼びかけても近くにいてくださる。このような神を持つ大いなる国民が、果たしてほかにいるだろうか。

神は、ユダヤ人がどれほど善良であるか、また神がユダヤ人をどれほど思いやっているかを見ることで、人々が助けや救いを必要とするときに神に求めることを望んでいました。

しかし、またしても約束は守られませんでした。民はモーセを通して神がなしてくださった事を忘れ、律法に従えませんでした。

親として私たちはルールを決め、子どもたちがルールを守ることを期待します。子ども達が従うように、さまざまなやり方を試しました。紙に書いたり、繰り返し言わせたり、優しい声や大きな声、その間のあらゆる方法で伝えました。時には罰を与えることもありました。

しかし、唯一効果的なのは、子どもたちと一緒にこなし続けることです。優しくゆるし、再び接し、さらに導くことです。失敗することを予想しつつも、それでも回復してやり直しできるようにサポートすることです。

同じように、神は最初からやり直します。アブラハムやモーセの契約の双方を超えることを行います。

パウロは、従来とは異なる新しい割礼について語り始めます。この新しい割礼は皮を取り除くのではなく、肉の体全体を取り除くものです。肉が切り離され、今は死んで目に見えないところに葬られています。

パウロは、エフェソの教会の対し、エフェソ人への手紙第 2 章で、彼らも過ちと罪の中で死んだと言っています。彼らもあなたも、教会も、世の基準に従い、悪魔の影響を受け、悪魔に捕らえられて歩んできた、ゾンビみたいなものだったのです。

ヨナのように死んだ状態です。ヨナは苦しみのために主を求め、魚の腹（よみの腹）の中から、つまり死から、神に向かって叫びました。神はその声を聞き（ヨナ 2:2）、彼を救い出されました。

これがイエス・キリストが死から、つまり魚の腹（よみの腹）である墓場から解放されたという福音のメッセージです。これがヨナのしるしです。イエスは、すでに私たちに新しい命を与えてくださり、それは、従来のいのちを超えるのです。

だから、死んだ者はだれでも主イエスの名を呼べば救われます！　信仰によって救われるのです。

これが信仰と呼ばれるものです。イエスを主として信じ、全ての人に訪れる死と破壊からイエスが救い出してくださると頼るのです。なぜなら、全ての人が人生に関する神の律法を守れず失敗するからです。

ヨナは絶望の中や困難に直面しているとき、また死んだような状態のときでさえも、誰に呼びかけるべきかを知っていました。彼は信仰を持っていたからです。あなたはどうですか？

時には主の名を呼び、ただ祈ることすら難しいことがあります。これに気づいたことはありますか？　私は、これがサタンの力とサタンによる錯覚だと確信しています。

ペテロはこう言います。7:一切の思い煩いを神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。8:身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと歩き回っています。9:信仰をしっかりと保ち、悪魔に立ち向かいなさい。（ペトロー 5: 9）

これが信仰です。信仰だけが、ヨナのような状況における答えです。

私自身、自分の祈りにルールを作っていることに気づくことがあります。たとえば、祈りをもっと効果的にするためには、どこか一人でいる必要があるとか、膝をつかなければならないとか、神のために特定の言葉やタイトルを使わなければならないと思うことがあります。まるでそれが祈りに特別な力を引き起こすかのように。

しかし、そうではありません。どう祈るか、いつ祈るか、どこで祈るか、なぜ祈るかは問題ではありません。ただ祈ることが大切です。

最も単純な祈りが答えられることをご存知ですか？

イエスがカナンの女性に娘の悪霊を追い払うよう頼まれたとき、最初はイスラエルの民のためにだけ遣わされたと拒否なさいました。しかし、「主よ、私をお助けください」という祈りで十分でした。イエスは次にこう言いました。「女よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」すると彼女の娘は即座に癒されました。

何もできなくてもこのように祈ってみませんか？

あなたが祈っている相手は、天の父であることを覚えておいてください。父はそこにいて、あなたを助けたいと願っています。

パウロは続けます。

取り除かれた

14: 数々の規則によって私たちを訴えて不利に陥れていた借用書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださったのです。15:こうして、神はもろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストにあって彼らを勝利の行進に従えて、公然とさらしものになさいました。

パウロは、モーセの契約を通じて神が与えた律法が取り除かれたことを明らかにしています。神に従って生きるための律法は、十字架で釘付けにされました。その律法に従えなかった結果がもはやあなたには適用されないことを意味します。律法は十字架にかけられた肉と共に死にます。

なぜでしょうか？

人生の律法を十字架に釘付けにすることは象徴です。人が一人、イエスのように十字架にかけられると、上に掲げられた標識がその罪を表します。ローマ人の目から見たイエスの罪は、自らを王、すなわちユダヤ人の王と宣言したことでした。

パウロは、私たちの罪もまた十字架に掲げられているとほのめかしています。それは、私たちの罪の公然たる宣言であり、イエスが私たちの罰を引き受けたことを示しています。したがって、神の人生の律法はもはや結果を伴わず、その罪はイエスの死によって完全に償われたのです。

このように、イエスの勝利は、彼が死によってすべての結果を償ったにもかかわらず、なお生きているという事実にあります。パウロはこう宣言します。

死よ、お前の勝利はどこにあるのか。／死よ、お前の棘はどこにあるのか。（コリントー 15: 55）

38:私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、
39:高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。（ローマ 8:38b-39）

何も必要ありません。救いのために従うべきルールはありません。信仰が救いを完了させます。

エフェソ 2:14-15 によれば、イエスは律法によって生じた隔ての壁と敵意を取り除きました。誰でも、来たければ、イエスのもとに来ることができます。

パウロは言います。

再確認

16:だから、あなたがたは食べ物や飲み物のことで、あるいは祭りや新月や安息日のことで、誰にも批評されてはなりません。17:これらは、来るべきものの影であり、実体はキリストにあります。18:あなたがたは、自分

を卑下したり、天使を礼拝したりする者から、不利な判断を下されてはなりません。彼らは、幻で見たことを頼りとし、肉の思いによっていたずらに誇っているだけで、19:頭であるキリストにしっかりと付くことをしません。この頭が基になり、体全体は節と節、筋と筋によって支えられ、結び合わされ、神に育てられて成長してゆくのです。

パウロは教会に対して、自分たちの生き方についてのあらゆる批判に影響されないよう再確認させようとしています。また、クリスチャンが宗教的な人生の律法に騙されないようにしようとしています。

パウロの最初の指示は、誰にもあなたを裁かせてはいけないということです。

彼は特に、宗教的慣習に関連して起こる批判について言及しています。

しかし、この指示はそれだけではありません。さらに深い意味があります。もう一段階あります。

教会は過去 2000 年の間に発展してきました。そして、ノアからアブラハム、モーセへと続く神の民の発展と同様のパターンや行動が現れることがあります。

今日、特定のクリスチャン、教会、クリスチャングループは、自分たちだけが神の民であり、救われていると信じています。彼らはノアとその箱のように、特別または秘密の何かを持っていると思っています。しかし、それがカルトの定義です。そうしたカルトはたいてい、主イエス・キリストによる信仰だけで救われることとは無関係なルールや規則で満ちています。

また、特定のクリスチャンや教会、クリスチャングループは、自分たちの信仰の仲間である兄弟姉妹と争い、議論することを好みます。彼らは、自分たちの信念や神学に同意しないクリスチャンは攻撃する必要があると信じており、異なる考えや行動を持つ説教者や牧師の名前を公然と挙げることさえあります。これは攻撃であり、ヨセフの兄弟たちが彼を痛めつけたのと似ています。彼らはまた、信仰だけで救われるという考えを信じていません。

今日の特定の宗教グループは、聖書を一つの権威として見ながらも、さらに権威を加えようとします。どのように加えるのでしょうか？ルールや規則を追加するのです。彼らは新しいルールや規則を取り入れ、本物のクリスチャンとは異なる存在であることを示そうとします。

面白いことに、これらのグループはしばしば「天使的な啓示」や「霊的なコミュニケーション」、または聖書が教えることとは異なる予言を持ち出します。それが彼らのトリックです。「私たちにはあなたが持っていないものがありますよ！」

これがパウロの第二の指示です。誰にも騙されてはいけません。
彼らは、人々を支配するには騙す必要があると知っています。それは、聖書に何かを追加することです。これもまた、信仰だけで救われる、キリストだけで救われるという信仰上の間違いです。

パウロが言っていることを良く聞いてください。「他人の召し使いを裁くあなたは、一体何者ですか。召し使いが立つのも倒れるのも、その主人次第です。しかし、召し使いは立つでしょう。主がその人を立たせることができになるからです。」ローマ 14:4

力、支配、権威が行使されるとき、相手はルールしか持っていません。ルールは砂の中に線を引くようなものです。その線は神ではなく彼らの判断に基づいて良し悪しが決まります。パウロは、救いのための唯一の力であるイエス・キリストを守ろうとしています。

そのような反対があったら、どう対処すればよいのでしょうか？ あなたは「気にしないクリスチャン」になる必要があります。これが今日のメッセージのタイトルです。

他人があなたをどう判断するか気にしない、そして人々があなたに課すルールを気にしないことが大切です。救いは行いに基づきません。すべてを支払ったイエス・キリストを自信を持って見上げ、自由になりましょう。

パウロはこのことをガラテヤの信徒への手紙の中で注意喚起しています。「この自由を得させるために、キリストは私たちを解放してくださいました。ですから、しっかりと立って、二度と奴隷の軛につながれてはなりません。」ガラテヤ 5:1

このようにすれば、どんなにルールや規則、禁欲主義や断食を持っている人たちも、あなたには敵わないのです。

パウロは言っています。

再確立

20:あなたがたは、キリストと共に死んでこの世のもろもろの霊力から離れたのなら、なぜ、この世に生きている者のように 21:「手を付けるな、味わうな、触れるな」などという規定に縛られているのですか。22:これらはみな、使えばなくなるもの、人間の戒めや教えに基づくものです。23:このようなことは、独り善がりの礼拝、自己卑下、体の苦行を伴うもので、知恵あることのように見えますが、実は何の価値もなく、肉を満足させるだけなのです。

これまで、パウロはアブラハムおよびモーセとの契約が再び確立されたことを明確に述べてきました。パウロはここでは具体的には言っていないものの、ノアとの契約についてはペテロがペテローの 3 章でその関係性を示しています。ペテローの 3 章では、洗礼をノアの箱舟の対型（アンチタイプ）と呼んでいます。

しかし、パウロはこれら人との 3 つの契約段階にとどまらず、さらに奥深く行こうとしています。というのも、パウロが一貫して扱っているのはアダムの契約だからです。

アダムとエバが罪を犯したとき、彼らは霊的に死んだと宣言されました。その直後に神が行ったことは、彼らを皮で覆うことでした。

パウロはこの肉体を「罪深い本性」と呼び、私たちはそれをアダムから受け継ぎました。この本性が今、取り除かれようとしています。それによって、私たちは堕落前のアダムが生きていたように生きることができるのです。これがすべての創造物が贖われる方法なのです。

私は主にあって大いに喜び　私の魂は私の神にあって喜び躍る。主が救いの衣を私に着せ　正義の上着をまとわせてくださる。イザヤ 61:10

私たちは将来、再び生命の木から自由に食べることができるようになるでしょう。

「耳のある者は、霊が諸教会に告げることを聞くがよい。勝利を得る者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせよう。」黙示録 2: 7

そして、この事はさらに進んでいきます。なぜなら、キリストは単に罪に勝利しただけでなく、この世に来てサタンの頭を打ち砕いたからです。これによって、サタンは再び「これを食べてはいけない、あれを食べてはいけない」という規則で私たちを欺くことができなくなります。

しかし、それは未来のことです。では、今現在はどうでしょうか？

ここで大切な問題に取り組みましょう。私たちは本当に好きに生きていいのでしょうか？

パウロがこの質問にどのように対処したかを思い出しましょう。

1:恵みが増すようにと、罪にとどまるべきだろうか。2:決してそうではない。罪に対して死んだ私たちが、どうして、なおも罪の中に生きることができるでしょう。3:それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにあずかる洗礼（バプテスマ）を受けた私たちは皆、キリストの死にあずかる洗礼（バプテスマ）を受けたのです。4:私たちは、洗礼（バプテスマ）によってキリストと共に葬られ、その死にあずかる者となりました。それは、キリストが父の栄光によって死者の中から復活させられたように、私たちも新しい命に生きるためです。ローマ 6:1b-4

肉の欲望にふける問題点は、あなたが救いに相応しくないということではありません。問題は、あなたの死すべき肉の力が増すことです。そして、その力が増すにつれて、罪の中で神や他の人との霊的なつながりがますます薄れていきます。

あなたは契約を破る層を一段一段と落ち始めます。まず、あなたと神との関係を壊します。そして、罪の中でこの世と親しくなるにつれて、知り合いとの関係、友人との関係、次にキリストにある兄弟姉妹との関係、そして最後には自分の家族や愛する人との関係を壊していきます。

やがて、相手はあなたを別人のように感じるでしょう。まるで死んだ肉に覆われているかのように。生ける屍のように、キリストに従う者にはとても認識できなくなります。この世の人々と同じように見えるのです。

申命記 4:6-7 では、ご自身の民の愛に基づいた従順を見ることで、この世の人が神のもとに来ることを神は望まれたと書かれています。ヨハネ 13:34-35 にも同じことが書かれています。

34:あなたがたに新しい戒めを与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35: 互いに愛し合うならば、それによってあなたがたが私の弟子であることを、皆が知るであろう。ヨハネ 13:35－34

これこそが主が私たちに期待していることです！　つまり、私たちが互いに愛し合い、神がどれほど良いお方であるかを世界に示しましょう。

招き
イエスは疲れた者、重荷を負った者を、ご自身のもとに招いています。彼はこう言います。「すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」
あなたは休息が必要ですか？ 主イエス・キリストを信じ、その休息を得てください。イエスが主であることを信じましょう。彼は治め、救い、真の休息を与えてくださいます。
イエスは、世や悪魔によって私たちに押し付けられた重荷を取り去ってくださいます。あなたの重荷が十字架に釘付けにされ、**あなたは自由になります。**
その信仰において、あなたは自分の死んだ肉を超えて、今や霊に生きる者として神と他者を愛する力を得ることができます。
共に御霊のうちを歩みましょう。
祈りましょう。

ジェシー　マーク　セザリオ
東京バプテスト教会
2024年8月31日/9月1日

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3624jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件：クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu